

スイートコーン甘味種

スーパースイート

播種にあたって

欠株防止のために

◎ 種子の特性

甘味種スーパースイートの種子は、普通のスイートコーンとくらべると、リッターあたりの粒数はそうかわらないが、グラムあたりの粒数は5割くらい多くなります。種子が軽いのはやせていてシワが多いため、発芽は一般に低率です。中央研究農場における低温発芽試験（コールドテスト）によると、クロスバンタムが70～80%も生えているのに、スーパースイートは20～30%にすぎません。発芽試験の発芽率からみると3分の1くらいにおちております。この結果は圃場に早播した場合の発芽率とみて間違いありません。

表1 低温発芽試験（S55 中央研究農場）

品 種 名	発芽試験	低温発芽試験
アーリースーパースイート	85.0%	33.4%
スーパースイート	83.7%	22.2
クロスバンタム	94.5	73.4

（低温発芽試験）～10℃の低温の畑の土に播いて10日おき、その後加温して発芽を調べる。

◎ 欠株の防止

甘味種栽培のポイントは北海道では、いかに欠株を少なくすることができるかどうかにかかっているといってもさしつかえありません。10aあたり4,400～4,500株植で1～2割の欠株の畑をみかけることがままあります。

早播の方が収量、品質をよくするという報告もあり、早期出荷ということもあって一層早播の傾向がみられます。したがって播種にあたって欠株を少なくする配慮が大切です。

1 播種粒数

欠株を防止する手段の第一は播種粒数を多くすることです。少なくとも1カ所に3～4粒以上播くことが原則になります。多粒播の効果は欠株防止の上に、ヤット生えた株より元気のよい株を残すことができ、良質多収につながります。

表2 播種粒数と収量 (十勝農試)
品種：アーリースーパースイート 10a当収量

播種粒数	生存株率	穂数比	重量比	1穂重
1	79%	100%	100%	243g
2	87	127	118	226
3	92	146	138	231
4	98	162	152	228
5	99	159	152	232

2 種子消毒

スイートコーン種子はキャプタンなどで薬剤処理されておりますが、処理後数カ月経っており、播種前にチューラム剤などを粉衣することにより発芽率をたかめることができます。低温時の発芽不良の原因は、発芽にヒマがかかる間にピシウム（立枯をおこす病原菌）などによって種子がおかされるためとみられております。なおタネバエの被害のみられる畑ではVCT粉衣剤（チューラム殺菌剤、VC殺虫剤との混合剤）を種子重の0.3%使

表3 種子消毒の効果

処 理 法	発芽株の対比
チューラム80	100%
無 処 理	73.5

チューラム0.3%粉衣 5月10日播種

用することによって防ぐことができます。

3 肥料ヤケ防止

多収技術として多肥の傾向に進んでおり、このことが案外、発芽障害をひきおこし、欠株の原因になっている場合があります。施肥にあたってはチッソ肥料の3分1以上を追肥にまわすことと、種子と肥料をはなしてまくことによって、肥ヤケを防止できます。（園芸部）